

P u b l i c r e l a t i o n s

t a i s e i
たいせい 2005.8
No. 476

~ 大成町閉町記念誌 ~



先達の英知と汗で創出した歴史と伝統ある郷土

「大成町」閉町にあたって！



高畑 實 議長

花田千賀志 町長

久保 一 教育長



町の花 エソヤマツツジ

大成町長 花田 千賀志

私たちは、長い間「大成」という響きを生活の糧に老いも若きもがんばってきました。

わが郷土の生い立ちは、今から三百年前の宝永時代、先人たちは未来に夢を馳せ、アイヌ民族の先駆開拓を礎石に、大地に新たな協働の鋤を入れ、海を拓き、集落を構えたことに始まります。

明治二年八月、久遠郡は一郡九ヶ村（長磯村、貝取澗村、平田内村、湯ノ尻村、日方泊村、三艘澗村、一艘澗村、上古丹村及び太田村）となり、今年で百三十六年を迎えました。

強靱な体躯に勤勉な開拓精神が根をおろし、一生懸命に頑張る人を応援し、結果の見えないことを黙々とやり抜いてきた万里の道程、今日ある大成町を築いてこられた幾多の方々のためまぬご努力に感謝の気持ちを新たにいたします。

いま、時代の変遷により大成町は「せたな町大成区」として、新たな旅立ちをむかえております。

「平成の大合併」・・・大成町の歴史の幕が閉じても、これまで我が郷土の発展に寄与された方々の偉業と精神を永く、後世に伝え、日本海に輝ける大地の創造に向けての道しるべとなることを、一心に念じてまいりたいと存じます。

大成町議会議長 高畑 實

大成町の新たな発展を期して、平成十七年九月一日新生「せたな町」として、スタートすることになりました。

明治二年久遠場所が、後志国久遠郡（九村）となり、明治十三年久遠・奥尻・太櫓・瀬棚の四郡役所が久遠郡に設置され、同時に戸長役場が開庁されました。

昭和三十年七月久遠村・貝取潤村が合併し、大成村となり、昭和四十一年十月町制を施行し、今日に至っております。

この間、高邁な識見のもと、時代の大きな苦難、幾多の難行を乗り越え町の未来について、議論を重ね、自然と調和した、住みよい豊かな町づくりにご尽力を戴いた町民みなさま、永年町政発展にご貢献いただきました、多くの先輩諸氏に対し、心から敬意を表し厚く感謝申し上げます。

これからの地方自治は、自己決定・自己責任の原則に基づく住民自治の確立が強く求められております。

少子高齢化社会の到来、多様化する住民ニーズへの対応、生活圏の広域化など、社会変化に対応することが肝要であり、このような時代背景にあつて、わが町の将来を見据えたうえで、合併を選択したところであり、町民とともに大きな夢のある地域を創造してまいりたいと考えております。

町民のみなさまには、合併後これまでのような行政サービスが維持できるのか、低下することがないのか、ということが最大の心配事であります。

それだけに、我々に課せられた責任と使命の重大性を痛感し、心意気を新たにしております。

今後とも、地域の要望や意見等を町政に届け、住民の安全と潤いのある住みよい「せたな町」のまちづくりをめざして、一生懸命頑張つてまいります。

終りに臨み、町民みなさまのご健勝、ご多幸と新生「せたな町」の輝かしい発展をご祈念申し上げ、ごあいさつと致します。

大成町教育委員会教育長 久保 一

平成十七年八月三十一日、先人達が築いた大成町百三十六年の歴史に幕を閉じ、九月一日大成町、瀬棚町、北檜山町の三町が合併して、新「せたな町」が誕生します。

大成町開庁（戸長役場が設置された明治二年）以来、明治、昭和、平成と三度目の大合併であります。

これによつて、幾多の変遷を経ながら脈々と続いてきた大成町の歴史、文化、教育に幕を下ろすことになりましたが、合併後においても未来に夢のある地域でありたいと願っております。

さて、教育に関わる歴史を繙くと、今から百二十五年前、明治十三年に現在の久遠小学校が大成町学校の始まりと記されております。

その後、地域の人々の教育に対する熱意によつて小学校はもとより中学校、高等学校が設置され、今日の大成町の教育を推進する原動力となり多くの人材を社会に送り出してきました。

合併後においてもこれまでの大成町の文化と伝統を継承し、更なる人づくりと地域発展に期待を寄せております。



町の木 オンコ（イチイ）

大成町のこれまでの歩み

九月一日をもって、大成町は閉町を迎え、新たに「せたな町」としてスタートします。当町における人類の形成は縄文文化前期とされ、永きにわたり大成町の歴史が刻まれてきました。これまでの歩みを中心に、大成町のこれまでの歩みを振り返ります。



貝取潤二洞窟における遺跡の発掘調査
(平成2年6月)



武田信宏より太田権現の尊号を賜った
本殿を目指す「御山掛け」

大成町史年表（抜粋）

年号	西暦	事項
享徳 三	一四五四	・武田信宏が奥尻探索後、太田湾に上陸、太田山踏査、太田権現の尊号を賜る。
寛永 十四	一六三七	・松前藩福山城出火、城と城下町延焼七世藩主公広負傷、厚谷貞政新下（後四郎兵衛）、身の危険をかえりみず救出にあたり重傷を負い翌日逝く、藩主公広この功を讃え宇須辺知領一円を賜わる。
寛文 六	一六六六	・美濃の国円空太田に巡礼する。洞窟にこもり多くの仏像を彫る。
宝永 元	一七〇四	・越前国正光寺空念太田山に詣り観音経を奉納する。
天明 三	一七八三	・厚谷四五平（四郎兵衛）が請負人となり、支配人石橋屋松兵衛を配し、ウスベツに運上屋を置く。 ・クドウ初鯨群来大漁。内地からの出稼者は入役として男一貫二文、滞在して越年は六百元加算して江差番所へ納め、和入地の人は請負人に二分払う。



都遺跡の発掘調査（昭和42年12月）

いつからこの地に人が住みついたか
最初の人類形跡は「都遺跡」「小歌遺跡」から出土した石器、土器等の遺物から推測すると縄文前期（五千五百年前）にもう人類が住んでいた。また、貝取潤海岸沿い山側にある洞窟を平成二年より六年間にわたり毎年十日程度、北海道開拓記念館の事業として学芸員一行六名が発掘調査を実施し、その結果多くの遺物を採取、それらを調査したところ縄文後期（約千五百年前）にここをめぐらした古代の人が住みついていたことが判明した。彼らが海・野山での狩猟生活をしてきたことが遺物の内容から推測できる。北海道が蝦夷地と言われた時代、松前領地以外は和人の居住は御法度、しかし、それに拘わらず和人が住んでいた。寛永十四年（一六三七年）厚谷新下貞政松前七代公広より勲功により宇須辺知一円を知行地として拝領している。その六十年後の宝永元年（一七〇四年）松前唐津の人、厚谷四五平請負人となり支配人を配し、ウスベツに運上屋を置いた。この時、支配人その他数人がここに住み始めた。これが和人の最初の住人となったものだろう。享保四年（一七一九年）熊石より先々追鯨に参り候船より毎度熊石番所へ差出候・・・この追鯨に出漁するには、その地の場所請負人との契約が必要となり、許可されれば収穫物の二割または一割を請負人に納めることになる。請負人にとっては収益を上げるチャンスである。自分の場所に追鯨業者が入漁することは収益につながるので歓迎したことであろう。この地に漁に来る者を出稼者と言って年中受け入れられる。入役として男一人一貫二文、ここに越年するときは六百元加算、江差番所に納める。鯨漁では高い入漁料を払っても、高い収入を得られる。生計の安定を保つためには、越年料を支払って小屋を建て、落ちついて年中働けることが魅力であったろう。和人の定住の始まりは、この越年と言う方法があった。その裏付けとなる貴重な書類がある。慶応元年に西地九膳雲御場所越年家人別書と言う書物を請負人が役所に提出している。これによると越年小屋四十九軒、人別二百二十七人、男百二十七人、女百七人である。これには何時から越年を始めたのか年号も家族数も書き込まれている。

「漁業の町大成」の基盤を形成した先達の記録

鯨漁を生業とした先達、春の鯨が豊漁であるとの半年は寝て暮らすと言われた。明治以前の蝦夷地は、和人が自由に住めない場所、漁が終わると自分の国元へ、しかし、厳しい規制も時代とともに緩やかになり、役所に越年料を支払うと住めるようになる。仮小屋を建て、鮭・鱒・イカ等の漁獲に従事、現在の漁業につながる。明治になって誰もが自由に住めるようになってからも鯨漁で財をなした先達も少なくない。さしもの鯨も大正四年を最後に幻の魚となった。寛政元年（一七八九年）の春、菅江真澄は数日間久遠に滞在し見聞した鯨漁を次のように描写している。

「鯨が群来てくるころは都会の雑踏にまさるほど賑わしくなり、海は真つ白く白みわたつてやすの柄、舟の櫂などを魚の群れの中に立てても土に刺したようでも倒れません。舟は木の葉を散らしたようにたくさん漕ぎだし櫂・梶の音が山をゆるがすように響き昼夜をわかつたず海と陸とも人が往来して忙しい。また、火をたてると言つて、ここの磯から火を高く焚いて鯨の群れが来たときかの浦に知らせます。」



明治期の鯨場の作業風景描写図

寛政	元	一七八九
三河の人菅江真澄が久刀布を通り太田山参詣し、見聞した風俗・習慣などまとめる。円空の彫った仏像の多く安置されていることも絵を描き文を記す。	幕吏三橋藤右衛門一行二十七人外松前藩士等クドウ澗に入り巡視する。	太田山岩窟に内祠を造り不動尊外童子二神を津軽の人山田助右衛門が安置する。
熊石の人斉藤久右衛門が平田内に越年を始める。	江差の人神野彦衛門が太田に越年を始める。	石橋松兵衛が箆網を使用する。
松浦武四郎が熊石よりクドウに入り太田を通る。	真言僧宗俊が太田山の別当として居住する。	石橋松兵衛が牝馬四頭を購入する。箱館奉行より牝馬五頭下与される。
宗俊諸人のため太田遥拝所前後一里半を開削、箱館奉行より三十両賜る。	帆越山麓に観音石像を配す。以後観音山という。	箱館奉行付松浦武四郎がクドウ領を巡視する。太田山参詣。
箱館奉行支配頭向山源太夫がクドウ領受取りのため来る。	江差の鈴木甚右衛門、津軽の庄兵衛、関内からフト口に至る山道開削を出願許可される。	箱館奉行調査下役をクドウに置く。
三月、太田山道開削に着手し翌年五月完成する。		
文政	元	一八一八
天保	二	一八三一
弘化	二	一八四五
嘉永	五	一八五二
安政	二	一八五五
四	一八五七	

温泉発見顛末記（貝取澗常盤温泉）

明治の始め、鯨漁を営む親方大森八兵衛が番屋を貝取澗に置き鯨の群来る春までは江差に住まい漁期はこの地で過ごす。その年の漁を終え番屋に留守番の若者豊吉を置き引き上げた。春先き漁時期も近くなつたので船で使う材料を求め貝取澗の沢に入り手頃な材料を探している間にいつしか沢の奥に迷い込んでいた。悪いことに天候が一変し粉雪が舞つてくる。これは大変と急いで帰り支度をして戻ろうとした。その頃から吹雪はつのもり白一色の世界は足の向く方向が里と反対になつていくことに気づかずひたすら歩きに歩く。いつしか疲れ果て気力も薄れその場に座り込む。どのくらいいたつたのか、いつしか睡魔に取りつかれ眠つていた。目をさました時吹雪も止みあたりは静か、このままでは凍死すると思ひ立ち上がる。ふと、前方に積もつた雪のあたりから煙のようなものが、恐る恐るその場に行く、そこだけが黄色っぽい、そこから水がぼこぼこ噴き出している。手を入ると熱い、温泉だ。冷え切つた手足をひたしているうちに寒気も引き入心地がつく。元気を回復した豊吉、危険から脱したことに温泉を発見した喜びで一杯だった。冷静になつた彼は、里の方向を見極め迷つたことなく番屋に帰つてく。一部始終親方に話す。「良く助かつた。普段の心掛けが良いから神のご加護だろう。どんな温泉か見たいので案内してくれ。」早速豊吉は親方を案内、発見現場に、温泉は勢いよく噴き出している。小屋を建て湯治場にする事となり、次の日から材料を運び湯治場をつくる。評判を聞いた里の人々、隣近所誘いあつてやつてくる。湯は豊富、里の人達の憩いの場となつた。永久に尽きることのない温泉であるようにと「常盤温泉」と名付けた。現在は山奥の湯元から国民宿舎「あわび山荘」や国民保養センターに温泉を引きこみ、体の疲れを癒す温泉郷として親しまれていく。



明治の頃「豊吉」が辿つた貝取澗溪谷を自然観察する風景



新装した「湯とびあ白別」の露天風呂で温泉入浴を楽しむ観光客

菅江真澄の湯浴みした白別温泉の大人伝説

二百数十年前太田山を参詣した真澄、その日はアイヌの家で宿を借り次の日は「くどぶ(久遠)運上屋に泊まる。翌日ひらたないに着き鯨小屋に泊まらせてもらう。朝、この家の人達がウシジリと言う山奥の温泉に行く」と支度している。「わたしもそのいで湯を見たい。」「いっしょに行こう。」と誘われた。川辺づたいに木賊の原、竹やぶの中をかき分ける。路はなし。倒れた木を渡り逆巻く流れの川を三十回ばかりも入って渡った。路は二里ほどしかないのに難渋した。ようやく着いた。深い谷の底を流れる溪流にたぎり混じって湧き出る湯があった。入浴するところをつくろうと木を伐って立て、菅こもで周囲をかこい屋根を覆いむしろを敷くと小屋ができた。着物を脱ぎ湯を浴びたが熱い。また、たいそうぬるい冷泉も、老人が「この湯には知らない旅人がうっかり来て入浴してはならない大人と言つて口は耳までさけ、身丈のたいそつ高い者が普通の人のように化けて入り混じり身の筋を抜くことがある。この山にはそのようなものが住んでいるので大人と熊(ひくま)のことは決して口にしてはならない。」と言った。女の子が「この筆から大人がどんどろ(大木を三尺ほどに伐つたもの)や大石などころがし落とすことがあると聞いた。なにと耳に口をあててささやいた。日が暮れたのでたぎぎを高く積み火を焚いて七・八人の人がそるって寝た。それは熊を寄せ付けないためのものであった。真澄は白別の地で「いづる湯のけふりの末にさくら花 梢は春の色にかすみて」と詠んでいる。

現在のはかつてあつたひなびた湯宿は平成七年に建て替えられ、湯とびあ白別白別温泉として新装され、誰もが楽しく入浴することができる温泉として親しまれている。

年号西暦	事	項
安政 四 一八五七	・安芸の人行者政四良が奉納した太田山の字を象つた鉄製の定灯籠を、太田湾を望む大岩に宗俣(後の美泉定山)が設置し航海安全の灯をともす。	
五 一八五八	・箱館東本願寺営刹中に大乘坊を創立する。	
六 一八五九	・幕府平田内小川に寄場を設置することに決定。寄場の裏山に稻荷神社を建立する。(開基長坂庄兵衛)	
万延 元 一八六〇	・乙部長徳寺八世大賢和尚志願により、宗谷に至るまで観音像配置第一番を石橋屋宅に安置する。石橋屋自費をもつて一艘澗に小宇を建て観音堂と称す。	
文久 元 一八六一	・菊地又次郎太田場所に改良建網を用いる。 ・長坂庄兵衛差配人となり白別寄場建設に着工する。 ・行脚僧常陸の国安良観音堂守となる。	
二 一八六二	・長坂恒三郎(太田組頭)太田村へ移住する。 ・白別寄場が完成する。差配人長坂庄兵衛、定役長谷川儀之郎、同心文野六郎・杉山章右衛門、医師大熊某、足軽二名、小者数名。	
元治 元 一八六四	・白別寄場を廃止。十月に寄場より奥尻へ流罪人十名送る。	
慶応 二 一八六六	・山田六兵衛が白別より久遠に移り建網を建て漁舎改築船澗を開掘する。	
三 一八六七	・斉藤久右衛門、荒谷幸吉が建網を使用する。 ・能登の人大森八兵衛が貝取澗に移住し、漁場を開く。	



マンモス岩
日本海をバックにし、わがもの顔に闊歩する一際大きなマンモスは、姿形をそのままに岩に変身。どっしりと



親子熊岩
溺れる子熊、助けあげ、慈愛あふれるまなざしで、子熊見つめる母熊の、親子の情けがひしひしと眺める人の胸をうつ



夫婦岩
春うららかな日本海、海は藍色。どこまでも岬めぐれば、二つ岩、強風怒濤避けよう。そばに寄り添い、かばいあう。仲睦まじき夫婦岩

自然が造形した「奇岩めぐり」
長磯から太田の尾花岬まで連綿と続く海岸線。入り江と岬が交叉し、自然の醸した景観は変化に富み、昔も今も変わらぬ姿で大小の奇岩が連なり自然エネルギーの偉大さと造形美を堪能させてくれます

久遠郵便局の始まり

官設の郵便機関によって、公私用の別なく全国どこでも一定の料金で利用できるようになったのは明治四年（一八七一年）東京大阪でこれが近代郵便の始まりで、北海道では最初の郵便機関が明治五年七月函館につくられ「函館郵便所」が設置される。

・函館 福山 江差 久遠の西の線
・函館 森（海上を経て） 室蘭 千歳 小樽までの北の線

久遠郡一艘澗村に五等郵便役所が設置され職員一名の五等局として開局。久遠は北海道郵便の最古参に属する。久遠から函館への郵便は月に三回の往復便であったが、明治八年には月六回の定期便の定期となり明治九年には月九回の定期便が増える。郵便役所設置と同時に駅通所も併設され郵便物はその駅通夫・駅員によって運送された。久遠の隣の駅通は熊石・太櫓・奥尻で奥尻への海路は冬期間が大変であった。久遠郵便局（明治十四年七月改称）は明治二十一年七月より国内通常為替業務と貯金業務を開始し、明治二十二年十月には和文電信業務が行われるようになる。明治三十三年平田内から奥尻島へ海底電信線が敷設、明治三十五年十二月に太田郵便取扱所が設置、貝取澗郵便局は明治三十八年に開局し昭和五十八年三月にその歴史を閉じる。宮野郵便局は昭和十九年に設置される。

歴代の郵便局長

久遠郵便局		太田郵便局	
歴代氏名	歴代氏名	歴代氏名	歴代氏名
初代 山田六兵衛	初代 長坂 長八	初代 氏名	初代 氏名
2代 山田 久吉	2代 氏家 直方	2代 氏名	2代 氏名
3代 大野亥三郎	3代 長坂 平作	3代 氏名	3代 氏名
4代 佐野又四郎	4代 佐野 小麿	4代 氏名	4代 氏名
5代 佐野 小麿	5代 長坂長四郎	5代 氏名	5代 氏名
6代 佐野 佐守	6代 佐野 佐守	6代 氏名	6代 氏名
7代 齊藤 力	7代 長坂 恒利	7代 氏名	7代 氏名
8代 稲船 弘	8代 氏名	8代 氏名	8代 氏名
貝取澗郵便局		宮野郵便局	
歴代氏名	歴代氏名	歴代氏名	歴代氏名
初代 氏名	初代 氏名	初代 氏名	初代 氏名
2代 勸五郎	2代 氏名	2代 氏名	2代 氏名
3代 卯三郎	3代 氏名	3代 氏名	3代 氏名
4代 堤 秀三郎	4代 氏名	4代 氏名	4代 氏名

明治 二	一八六九	<ul style="list-style-type: none"> ・太政官布告により蝦夷地を北海道と改称し十国八十六郡を置く。 ・八月、久遠・奥尻郡福岡藩分領支配となる。 ・久遠郡は太田・上古丹・一艘澗・三艘澗・日方泊・湯ノ尻・平田内・貝取澗・長磯の九村となる。 ・一艘澗村の稻荷神社が新政府から郷社久遠神社として許可される。祠官宇田真弓寺小屋正廨舎を設立し、宇田真弓子弟に読み書きを教える。 ・神仏混淆禁止の布令、太田山権現の仏像、大日堂建立し遷座する。 ・開拓使より、太田山神社の社号認可、祭神猿田彦命となる。 ・八月、諸藩華士族等による分領支配を廃止し、久遠・奥尻郡は福岡藩から開拓使へ返上する。 ・二月、久遠郡が福岡藩より開拓使へ引渡す。 ・一艘澗村に仮病院を置く。（福岡藩より引継ぐ） ・三月、大年寄・中年寄・町代を廃止、戸長・副戸長・用掛を置く。 ・十月、函館・室蘭・札幌・小樽間、函館・福山・江差・久遠間郵便路線を開設する。 ・一艘澗村に五等郵便役所を開設する。 ・米国人モンロー一行白別川・小川調査、砂金を発見する。 ・太田山神社社祠代理小糖口作太郎社務を掌す。 ・瀬棚・奥尻両郡に勤番所を設け、久遠出張所管理とする。 ・久遠駅通駅場を建てる。 ・海関所、江差・寿都・森・久遠・当別・戸井・山越の八出張所となる。 ・久遠病院を函館病院出張所と改称する。
四	一八七一	
五	一八七二	
六	一八七三	
七	一八七四	
八	一八七五	
九	一八七六	

狸岩

大きなお腹 突き出して 得意満面 その顔は 愛嬌たっぷり 狸岩 月夜の楽しみ 腹づつみ ポンポコボンと打ち鳴らす



三味線岩

沖の力モメが 悲しげに 鳴く音もかすかき えていく 誰がつまびく 三味の音は 海面をわたり 遙か沖 主を求めて 消えてゆく



太田山

帆越トンネル 通り抜け 視界広がる目の前に 立ちはだかるは 峻嶺の 山岳霊場 太田山 頂き近くの 洞窟は 神がおわす 殿が 冷気ただよう 雲の中



明治期の歴代戸長
 明治十三年（一八八〇年）久遠郡一艘澗村に湯ノ尻村、日方泊村、三艘澗村、一艘澗村上古丹村、太田村の六ヶ村戸長役場が設置され、また久遠郡平田内村に長磯村、貝取澗村、平田内村の三ヶ村戸長役場が設置されるが翌年貝取澗村に移転となる。いづれも野村庵が初代戸長に就く。

歴代の戸長

歴代	職名	氏名
初代	久遠郡戸長	野村 庵
2代	太田村外五ヶ村戸長 (後 久遠村外三ヶ村)	金野源八郎
3代	久遠郡外三郡長 (兼 久遠村外三ヶ村戸長)	林 顕三
4代	久遠郡外三郡長心得 (兼 久遠村外三ヶ村戸長)	十倉 綱紀
5代	久遠村外三ヶ村戸長	氏家 直方
6代	"	宗像 健輔
7代	"	三浦邦之助
8代	"	齊藤 武美
9代	"	村賀多良明
歴代	貝取澗村外二ヶ村	氏名
初代	久遠郡戸長	野村 庵
2代	貝取澗村外二ヶ村戸長	原 藤助
3代	"	塩田作右衛門
4代	"	長嶺 将則
5代	"	大高 弘
6代	"	磯松年太郎
7代	"	蒔苗 清彦
8代	"	菊地 正吉
9代	"	露口 三松
10代	"	泰 鉄治
11代	"	奥平 了
12代	"	齊藤 武美
13代	"	古賀為次郎
14代	"	的場 励
15代	"	本間 直
16代	"	小山内小一郎
17代	"	石井又次郎
18代	"	窪田 元治
19代	"	小貫勝三郎
20代	"	本間 直
21代	"	佐藤 久治
22代	"	佐藤 豊英
23代	"	真田 甚八

年号西暦	事項
明治九一八七六	<ul style="list-style-type: none"> 全道を大小区画に定め、三十大区百六十六小区とする。久遠郡は八大区三小区となる。 函館病院久遠出張所を廃止する。
十一一八七七	<ul style="list-style-type: none"> 八月、第八大区区務所を一艘澗村に置き、第三小区長に菊地又次郎、副戸長に石橋健吉を任命する。
十二一八七九	<ul style="list-style-type: none"> 函館本願寺営刹中の大乘坊を移す。寺号の認可を得て大乘寺となる。 郡区町村編成法により大小区を廃し郡区町村を置く。一艘澗に久遠・奥尻・太櫓・瀬棚郡の郡役所が設置される。郡長代理に柴徹郎を任命する。
十三一八八〇	<ul style="list-style-type: none"> 開拓使町村戸長事務取扱所を戸長役場と改称し、一艘澗村一番地に置く。 公立久遠学校が一艘澗村に公立上古丹学校が上古丹村に開校する。 三艘澗村に五等郵便局を開設する。
十四一八八一	<ul style="list-style-type: none"> 貝取澗外二村戸長役場を平田内村より貝取澗村に移転する。 日方泊・三艘澗・一艘澗村が合併し、久遠村となる。 久遠村巡査交番所が設置される。
十五一八八二	<ul style="list-style-type: none"> 太田村に五等郵便局を置く。 平田内村白別川渡船場あり、渡銭一人一錢五厘であった。 公立平田内学校・公立湯ノ尻学校・公立太田学校・公立長磯学校・公立貝取澗学校が開校する。 開拓使を廃し、函館・根室・札幌の三県を置く。

定燈籠
 社務所そばの定燈籠 太田山と形どる
 台座の岩に文字かすか 安政四年と 読みとれる 隣合わせの 岩一つ 不思議や不思議 その形 海亀岩が 首もたげ



獅子岩
 岬の名前は 尾花岬 大海原を えぐるよう
 その突端の形象を まなこらしてよく見
 れば 獲物をねらい 待ち伏せる 百獣の王
 の造形 摩訶不思議



歴代村長・町長

歴代	氏名	就任年月日	退任年月日	歴代	氏名	就任年月日	退任年月日
初代	村賀多良明	M35.4.1	M41.2.25	初代	横山 信勝	S30.8.30	S34.8.29
2代	鈴木藤四郎	M41.2.26	M41.4.1	2代	吉岡亀之助	S34.8.30	S38.8.29
3代	井元 広誉	M43.4.23	M43.10.31	3代	吉岡亀之助	S44.9.11	S48.9.9
4代	清水 一郎	M43.4.23	M43.10.31	4代	高薄 登	S52.9.10	S56.9.9
5代	窪田 元治	M43.4.23	M43.10.31	5代	高薄 登	S56.9.10	S60.9.9
6代	栗木 三吉	T11.3.12	T11.8.16	6代	守山 喜三	H5.9.10	H9.9.9
7代	石井 準吉	T11.3.12	T11.8.16	7代	守山 喜三	H5.9.10	H9.9.9
8代	洪谷基太郎	T12.9.11	T13.11.4	8代	守山 喜三	H5.9.10	H9.9.9
9代	新納 晴秋	T13.11.9	T15.5.19	9代	花田千賀志	H9.9.10	H13.9.31
10代	小貫勝三郎	T15.5.14	T17.9.19	10代	花田千賀志	H9.9.10	H13.9.31
11代	伊在井喜蔵	S4.5.25	S5.9.19	11代	真田 甚八	T12.4.1	T14.9.6
12代	新納 晴秋	S4.5.25	S5.9.19	12代	紺谷元次郎	T14.9.1	T16.2.22
13代	栗田 子誠	S5.7.27	S7.9.26	13代	真田 甚八	S2.4.23	S5.1.22
14代	国頭自由吉	S14.7.21	S16.5.15	14代	佐藤 久治	S5.1.23	S8.4.17
15代	武田源五郎	S16.5.16	S20.4.20	15代	佐野 昌平	S8.4.18	S11.7.9
16代	高田 留蔵	S20.4.21	S21.8.31	16代	国頭自由吉	S11.7.9	S14.4.20
17代	滝 嘉一	S21.4.21	S22.8.19	17代	中条 長吉	S14.4.10	S21.7.20
18代	吉田 角三	S22.9.1	S30.7.19	18代	松前吉太郎	S22.8.21	S30.7.19

明治十六	一八八三	久遠村に消防組ができる。上古丹村宮古で消防足揃式を挙行する。
十七	一八八四	・ 太田村漁業協同組合業務を開始する（頭取神野彦三郎）。 ・ 柴郡長転出する。函館県御用係林頭三が郡長に任命される。
十八	一八八五	・ 函館県より西洋農具プラオ・バローなど借出し各郡部に試みさせた。 ・ 一月三日久遠神社で久遠いも祭りを挙つ。
十九	一八八六	・ 各郡区役所所在地に警察署を設置する。署長は郡長が兼任する。 ・ 郡役所雇員三浦金十郎、業務中太櫓山中の道に迷い命を失つ。
二十	一八八七	・ 久遠小学校に淳風小学校（湯ノ尻村）上古丹小学校（上古丹村）を合併し宮古へ移転する。
二十一	一八八八	・ 林郡長、増毛外五郡長兼宗谷各郡長となり転出する。十倉綱紀郡長心得となる。 ・ 宮古に郡役所が落成し移転する。
二十二	一八八九	・ 久遠外三郡役所、檜山・爾志郡役所に統合される。
二十三	一八九〇	・ 函館・江差・久遠・瀬棚・奥尻間に通運便が開始する。
二十四	一八九一	・ 加藤重兵衛、練陸揚機械を漁場に据え付けし、労働の軽減を図る。 ・ 私設久遠村消防組が公設久遠村消防組と改称される。
二十五	一八九二	
二十九	一八九六	

宮古に移転された郡役所
(明治23年)



町の文化財「久遠神楽」

明治三十年（一八九七年）青森県から鯉漁に夢をはせ、久遠村一艘瀧に移住の久保金次弟政次郎の二人は故郷を偲び南部神楽を宮古の青年団に教え舞つたのが始まり。爾来百八年連綿と続く。町の諸行事・祭典等に披露し町民に愛され親しまれている歴史と伝統を有する町の、無形文化財「久遠神楽」である。平成元年に大成高等学校が郷土の伝統芸能を学びたいと意欲を示し熱心に練習を始め、その成果は全道高等学校芸能大会において最優秀賞の栄冠を勝ち得た。また、平成四年沖縄県での全国大会に北海道代表として久遠神楽を演舞し、「文化奨励賞」を受賞した。



伝統を継承し、全国大会で演舞する大成高等学校生徒
(平成15年8月福井市にて)

12代	11代	10代	9代	8代	7代	6代	5代	4代	3代	2代	初代	歴代	5代	4代	3代	2代	初代	歴代	3代	2代	初代	歴代	初代	歴代	
樹田	樹田	高畑	高山	山本	山本	泉本	早川	越野	手塚	桑原	中島	氏名	中島	中島	桑原	齊藤	田中	氏名	武藤	川端	齊藤	氏名	桑原	久遠	
正信	正信	實茂	實茂	茂春	富春	新太郎	新太郎	新太郎	春造	龜藏	吉藏	大	吉藏	吉藏	龜藏	政治	政治	大	金太郎	和吉	政治	久遠	龜藏	久遠	
H16	H15	H12	H8	H4	S63	S59	S55	S51	S47	S43	S41	就任年月日	S39	S36	S35	S31	S30	就任年月日	S26	S23	S22	就任年月日	S22	S22	S22
7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	10	町	7	9	7	7	7	村	5	4	5	村	5	5	22
20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	退任年月日	20	16	20	20	20	退任年月日	12	9	19	退任年月日	30	7	19
H17	H16	H15	H12	H8	H4	S63	S59	S55	S51	S47	S43	就任年月日	S41	S39	S36	S35	S31	就任年月日	S30	S26	S23	就任年月日	S30	S30	S30
8	7	2	7	7	7	7	7	7	7	7	7	退任年月日	9	7	9	7	7	退任年月日	7	4	4	退任年月日	7	7	19
31	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	退任年月日	30	19	15	19	19	退任年月日	19	30	8	退任年月日	19	30	8

歴代議会議長

12代	11代	10代	9代	8代	7代	6代	5代	4代	3代	2代	初代	歴代	5代	4代	3代	2代	初代	歴代	3代	2代	初代	歴代	初代	歴代	
高畑	山本	早川	早川	早川	久保	手塚	久保	朝倉	朝倉	桑原	桑原	氏名	桑原	武藤	田中	厚谷	厚谷	氏名	厚谷	齊藤	長坂	氏名	田中	氏名	
實茂	茂	新太郎	新太郎	新太郎	春造	春造	春造	朝吉	朝吉	龜藏	龜藏	大	龜藏	金太郎	金太郎	一郎	一郎	大	一郎	政治	政治	久遠	四郎	貝	
H15	H12	H8	H4	S63	S59	S55	S51	S47	S43	S41	S41	就任年月日	S39	S36	S35	S31	S30	就任年月日	S26	S23	S22	就任年月日	S22	S22	S22
2	7	7	7	7	7	7	7	7	7	10	10	町	7	9	7	7	7	村	5	4	5	村	5	5	22
21	20	20	20	20	20	16	20	20	20	20	1	退任年月日	20	16	20	20	20	退任年月日	12	9	19	退任年月日	30	7	19
H17	H15	H12	H8	H4	S63	S59	S55	S51	S47	S43	S43	就任年月日	S41	S39	S36	S35	S31	就任年月日	S30	S26	S23	就任年月日	S30	S30	S30
8	2	7	7	7	7	7	8	7	6	7	7	退任年月日	9	7	7	7	7	退任年月日	7	4	4	退任年月日	7	7	19
31	3	19	19	19	19	10	19	28	19	19	19	退任年月日	30	19	7	19	19	退任年月日	19	30	8	退任年月日	19	30	8

歴代議会議長

十二	十一	四	三	二	四十四	四十三	三十八	三十六	三十五	三十四	三十二	明治三十一	年号西曆
一九三三	一九二二	一九一五	一九一四	一九一三	一九一一	一九一〇	一九〇五	一九〇三	一九〇二	一九〇一	一八九九	一八九八	西曆
<ul style="list-style-type: none"> ・ 四月、戸長役場が全廃、町村制が施行される。 ・ 貝取澗外二村に二級町村制が敷かれ貝取澗村となる。 ・ 十二月、見市発電所が竣工され、二百四十キロワットの送電となり熊石・久遠点灯開始となる。 ・ 六月、太田神社本殿を焼失、九月に本殿が再建される。 ・ 湯ノ尻・幌島特別教場が開始となる。 ・ 長磯青年会が発足、会員二十八名。 ・ 太田漁業組合設立認可される。 ・ 貝取澗外二村漁業組合設立認可される。 ・ 平田内の村社稲荷神社、無格社を久遠神社に合祀する。 ・ ロシア貨物船エルマーク号小歌岬で座礁する。 ・ 堤勘五郎が貝取澗郵便取扱所を置く。 ・ 太田郵便取扱所が郵便局となる。 ・ 湯ノ尻及び山中に冬期間分教場設立される。 ・ 又タツブ原野払下げ認可となる。一戸五千坪総坪六十三万坪。 ・ 北海道二級町村制施行、久遠村となる。 ・ 久遠尋常高等小学校高等科生徒四十六名が奥尻へ五泊六日の修学旅行を実施する。 ・ 江差裁判所久遠出張所設置される。 ・ 貝取澗・久遠・太田・上古丹・湯ノ尻漁業組合事務所設置される。 													



第1次庁舎
大正12年12月に建設され、昭和36年まで使用された第1次庁舎。



現在の役場庁舎
昭和五十八年七月旧役場庁舎が解体され、翌五十九年八月新庁舎が完成する。

歴代	氏名	貝取	歴代	氏名	貝取	歴代	氏名	貝取
8代	久保一	H9.10.11	初代	本間孝一	S27.11.1	歴代	氏名	貝取
7代	越野邦夫	H8.12.20	2代	佐藤之朗	S27.11.1	歴代	氏名	貝取
6代	寺分忠勝	H5.7.7	2代	大竹竹継	S28.4.1	歴代	氏名	貝取
5代	堤孝一	H4.3.20	2代	久遠村・大成村・大成町	S30.7.19	歴代	氏名	貝取
4代	本間孝一	H3.7.19	初代	佐藤之朗	S28.3.31	歴代	氏名	貝取
3代	今野婿	H3.7.19	初代	佐藤之朗	S28.3.31	歴代	氏名	貝取
2代	佐藤之朗	H3.7.19	初代	佐藤之朗	S28.3.31	歴代	氏名	貝取

歴代教育長

歴代	氏名	貝取	歴代	氏名	貝取	歴代	氏名	貝取
2代	堤秀三郎	H9.10.11	初代	越前寛	S27.11.1	歴代 <td>氏名 <td>貝取</td> </td>	氏名 <td>貝取</td>	貝取
初代	堤秀三郎	H9.10.11	初代	藤井福春	S27.11.1	歴代 <td>氏名 <td>貝取</td> </td>	氏名 <td>貝取</td>	貝取
初代	堤秀三郎	H9.10.11	初代	藤井福春	S27.11.1	歴代 <td>氏名 <td>貝取</td> </td>	氏名 <td>貝取</td>	貝取
初代	堤秀三郎	H9.10.11	初代	藤井福春	S27.11.1	歴代 <td>氏名 <td>貝取</td> </td>	氏名 <td>貝取</td>	貝取

歴代教育委員長

(昭和27年11月法律施行により)

歴代	氏名	貝取	歴代	氏名	貝取	歴代	氏名	貝取
7代	越野邦夫	H9.10.11	初代	佐藤之朗	S27.11.1	歴代 <td>氏名 <td>貝取</td> </td>	氏名 <td>貝取</td>	貝取
6代	花田千賀志	H5.7.7	初代	佐藤之朗	S27.11.1	歴代 <td>氏名 <td>貝取</td> </td>	氏名 <td>貝取</td>	貝取
5代	江口宏	H4.3.20	初代	佐藤之朗	S27.11.1	歴代 <td>氏名 <td>貝取</td> </td>	氏名 <td>貝取</td>	貝取
4代	堤忠勝	H3.7.19	初代	佐藤之朗	S27.11.1	歴代 <td>氏名 <td>貝取</td> </td>	氏名 <td>貝取</td>	貝取
3代	本間孝一	H3.7.19	初代	佐藤之朗	S27.11.1	歴代 <td>氏名 <td>貝取</td> </td>	氏名 <td>貝取</td>	貝取
2代	佐藤之朗	H3.7.19	初代	佐藤之朗	S27.11.1	歴代 <td>氏名 <td>貝取</td> </td>	氏名 <td>貝取</td>	貝取

歴代助役

昭和	大正	昭和	大正
十九	十二	元	十二
一九四四	一九三三	一九二六	一九三三
・宮野郵便局が開局する。	・久遠村役場が新築となる。	・江差警察署久遠分署が久遠警察署となる。	・十二月、久遠村役場が新築となる。
・久遠警察署廃止、久遠警部補派出所となる。	・久遠村で電話業務開始する(加入者二十戸)。	・アメリカ国際児童親善会より青い目の人形が久遠尋常高等小学校に届き歓迎会を開催する。	・久遠尋常高等小学校に届き歓迎会を開催する。
・太平洋戦争が勃発する。	・久遠村で電話業務開始する(加入者二十戸)。	・久遠警察署長、下田警部補が釜歌野で刺され死亡する。	・久遠警察署長、下田警部補が釜歌野で刺され死亡する。
・国民学校令公布、小学校を国民学校と改称する。	・無責任久遠漁協組織、太田漁協組織、貝取澗漁協組織が改定認可となる。	・久遠船入澗第一期工事が着工する。	・久遠船入澗第一期工事が着工する。
・十二月八日、太平洋戦争が勃発する。	・太田神社登山口大鳥居・階段竣工する。	・久遠船入澗第一期工事が着工する。	・久遠船入澗第一期工事が着工する。
・久遠警察署廃止、久遠警部補派出所となる。	・小川に久遠鉦山開鉦される(昭和炭油株式会社久遠鉦業所)。	・久遠船入澗第一期工事が着工する。	・久遠船入澗第一期工事が着工する。
・宮野郵便局が開局する。	・貝取澗村に消防団が結成される。	・久遠船入澗第一期工事が着工する。	・久遠船入澗第一期工事が着工する。
・久遠警察署廃止、久遠警部補派出所となる。	・久遠村消防組が久遠村警防団に、貝取澗村防衛団が貝取澗村警防団に改称される。	・久遠船入澗第一期工事が着工する。	・久遠船入澗第一期工事が着工する。
・久遠警察署廃止、久遠警部補派出所となる。	・久遠村、貝取澗村各字を廃し、新字名に改称される。	・久遠船入澗第一期工事が着工する。	・久遠船入澗第一期工事が着工する。



多くの卒業生を送りだした久遠中学校舎全景



議会審議 昭和五十五年当時の第二次庁舎議場内における議会審議の状況

叙位・叙勲受章者

勲章の種類	受章者氏名	勲章時年齢	受章年月日	功労内容
正六位勲五等瑞宝章	吉岡亀之助	70歳	(特別) S 44. 7. 31	地方自治
勲五等瑞宝章	桑原 亀蔵	76歳	S 45. 4. 29	地方自治
勲六等単光旭日章	斉藤 政治	74歳	S 46. 11. 3	地方自治
勲五等瑞宝章	佐藤 栄作	77歳	S 49. 4. 29	地方自治
勲六等単光旭日章	武藤 勇	75歳	S 50. 11. 3	水産業
勲六等瑞宝章	山口 豊治	77歳	(特別) S 51. 6. 7	地方自治
正六位勲五等瑞宝章	朝倉 朝吉	62歳	(特別) S 51. 7. 9	地方自治
勲六等瑞宝章	斉藤 太吉	76歳	S 51. 11. 3	統計
勲六等単光旭日章	青山 為雄	78歳	(特別) S 53. 2. 8	地方自治
勲五等双光旭日章	久保次郎	70歳	S 53. 4. 29	地方自治
勲七等瑞宝章	三上 豊作	63歳	S 54. 4. 29	消防
勲六等単光旭日章	内糸 勇晴	72歳	(特別) S 54. 9. 11	地方自治

勲章の種類	受章者氏名	勲章時年齢	受章年月日	功労内容
正六位	桑原 亀蔵	85歳	(特許勲位) S 54. 11. 28	地方自治
勲七等瑞宝章	上野又五郎	63歳	S 55. 11. 3	消防
勲六等瑞宝章	小田桐繁成	63歳	S 58. 1. 21	地方自治
勲五等瑞宝章	守山 喜作	72歳	S 58. 4. 29	社会福祉
勲七等青色桐葉章	石橋 儀蔵	63歳	S 58. 11. 3	消防
勲五等瑞宝章	荒谷彌実路	81歳	S 61. 4. 29	地方自治
勲六等瑞宝章	佐藤 雪夫	64歳	S 62. 4. 29	消防
勲六等単光旭日章	藤谷初三郎	80歳	(特別) S 62. 10. 15	地方自治
従六位勲五等双光旭日章	高薄 登	69歳	(特別) S 62. 10. 20	地方自治
勲六等単光旭日章	川村 初富	63歳	(特別) S 63. 9. 30	地方自治
勲五等瑞宝章	大野喜三郎	81歳	H 1. 4. 29	地方自治
勲六等瑞宝章	瀬川 吉也	65歳	H 1. 11. 3	消防

年号西暦	事	項
昭和二十一年	第二次世界大戦終わる。	
昭和二十二年	新学制による小・中学校発足する。	
昭和二十三年	久遠中学校・久遠中学校太田分校・平田内中学校・貝取澗中学校・長磯中学校が開校する。	
昭和二十四年	久遠村警防団が久遠村消防団と改称される。	
昭和二十五年	貝取澗村警防団が貝取澗村消防団と改称される。	
昭和二十六年	今金高等学校久遠分校が設置認可となる。	
昭和二十七年	第一回成人式が開催される。	
昭和二十八年	今金高等学校久遠分校が開校する(於久遠小学校)。	
昭和二十九年	今金高等学校久遠分校は東瀬棚高等学校久遠分校と改称される。	
昭和三十年	貝取澗村、岩手県から漁業者の副業として短角牛十五頭入れる。	
昭和三十一年	貝取澗村立平田内小学校平和分校が開校する。	
昭和三十三年	久遠漁港第二種漁港となる。	
昭和三十三年	久遠村で水道工事に着手する。(三ヶ年計画)	
昭和三十三年	渡島信用金庫久遠支店開業する。	
昭和三十三年	久遠村・貝取澗村教育委員会が発足する。	
昭和三十三年	東瀬棚高等学校久遠分校が北海道久遠高等学校として認可される。	
昭和三十三年	道立宮野診療所開設となる。	
昭和三十三年	久遠小学校富磯分校開校する(昭和二十七年十二月一日認可、四年生まで)。	
昭和三十三年	大成町保育所・長磯公民館新築落成する。	

叙位・叙勲受章者

勲章の種類	受章者氏名	勲章時年齢	受章年月日	功労内容
勲六等瑞宝章	松前 幸男	60歳	(特別) H 2. 3. 2	消防
藍綬褒章	大島 政勝	65歳	H 2. 4. 29	消防
勲五等双光旭日章	越野與一郎	79歳	H 3. 4. 29	地方自治
勲六等瑞宝章	手塚 清一	76歳	H 3. 11. 23	地方自治
勲六等単光旭日章	松本與治郎	87歳	(特別) H 4. 3. 30	地方自治
勲六等瑞宝章	越前 寛	81歳	(特別) H 4. 8. 4	地方自治
勲六等単光旭日章	吉田 角三	80歳	(特別) H 6. 11. 14	地方自治
"	新岡勇三郎	81歳	(特別) H 7. 5. 23	地方自治
"	佐藤 翠	82歳	H 7. 11. 3	社会福祉
勲五等瑞宝章	三輪 猛義	72歳	H 7. 11. 3	人権擁護功労
黄綬褒章	朝倉 満雄	57歳	H 7. 11. 3	産業振興
勲六等単光旭日章	小田桐康雄	70歳	H 8. 4. 29	消防

勲章の種類	受章者氏名	勲章時年齢	受章年月日	功労内容
勲五等双光旭日章	早川新太郎	78歳	H 9. 11. 3	地方自治
"	堤 秀三郎	76歳	H 9. 11. 3	教育行政
勲六等瑞宝章	杉村 福三	73歳	H 11. 4. 29	消防
勲六等瑞宝章	五十嵐新悦	58歳	(特別) H 11. 5. 13	消防
"	伊吹 昌紫	70歳	H 12. 4. 29	消防
勲五等双光旭日章	守山 喜三	76歳	H 14. 11. 3	地方自治
正六位勲五等瑞宝章	山本 茂	72歳	(特許勲位) H 15. 2. 2	地方自治
勲五等瑞宝章	前田幸之進	77歳	H 15. 4. 29	消防
藍綬褒章	成田恭太郎	86歳	H 15. 4. 29	統計
瑞宝双光章	大島 政勝	79歳	H 15. 11. 3	消防
旭日単光章	越前 義政	77歳	(特別) H 17. 6. 11	地方自治
瑞宝単光章	川村 盛吉	69歳	(特別) H 17. 6. 28	消防

町章

久遠村・貝取澗村合併を記念し、昭和三十年七月二十日に町章が制定されました。中央に町名の「大」を置き「成」の字を上の方の半月と下の半月にわけて図案化したもので、全体の円形は住民の融和と団結、上下の半月は海と山の豊富な資源を表し、町の躍進を表しています。



町民憲章

町民憲章は昭和五十五年十一月三日に制定されました。

わたしたちは 日本海の潮騒を生活の調べとして育った大成町民です。
恵まれた自然と先人の偉業を誇りとし力をあわせ住みよい町をつくることに努めます。

- ・健康で明るい大成町民 心なごむ町
- ・生産に励む 大成町民 伸びゆく町
- ・きまりを守る大成町民 平和な町
- ・自然を生かす大成町民 美しい町
- ・文化を創る 大成町民 豊かな町

同時に町の木として「オンコ」
町の花として「エゾヤマツツジ」を
制定しました。

昭和二十九年	一九五四年
三十一	一九五五
三十二	一九五七
三十三	一九五八
三十四	一九五九
三十五	一九六〇

- ・宮野、白泉に漁港築設される。
- ・第四回檜山（北部）消防総合訓練大会開催される。
- ・花歌簡易水道工事に着手し十一月給水開始となる。
- ・台風十五号が襲来し死者一名発生する。家屋・漁船被害甚大。
- ・久遠漁業協同組合と太田漁業協同組合が合併する。

- ・平田内小学校平和分校が独立認可となり平和小中学校となる。
- ・太田水力発電施設完成する。
- ・七月二十日、久遠村と貝取澗村が合併し大成村となる。
- ・村章が制定される。
- ・久遠村消防団と貝取澗村消防団が統合され、大成村消防団と改称される。
- ・各地区に区長を置く。
- ・村道久遠太櫓線が産業開発道路に指定される。
- ・小歌岬に灯台完成する。
- ・大成地区農業改良普及所が宮野に開設する。
- ・台風十四号襲来し死者一名、家屋漁船に被害甚大（自衛隊救護五百余名）。
- ・上浦漁港竣工する。
- ・檜山道立公園に指定される。
- ・大成高等学校新築落成・開校十周年記念式典を挙げる。
- ・大成村商工会設立総会開催。会長に大野友二郎氏就任する。

大成村の誕生

昭和二十八年（一九三五年）九月一日、町村合併促進法が公布され、当時は全国九千八百余町村のうち、町村の標準規模と言われる人口八千人に満たない町村が八千五百パーセントを占めていたが、これを合併して三千余の町村に減らす方針が明らかにされたことを受けて「久遠村」と「貝取澗村」との間で「町村合併促進準備委員会」を設置するなどして合併協議を行うこととなった。

昭和三十年四月十六日、久遠村、貝取澗村合併促進協議会設置に関する協議書が取り交わされ、同年六月十四日開催の協議会において合併時期を七月二十日と定めた。

久遠村、貝取澗村の合併に伴う村名の決定に当たっては、新村にふさわしい呼称を町民より公募し、二二二点の応募の中から、字本陣の太田雄二氏が応募した「大成」に決定された。



町制施行当時の久遠港と久遠市街地
(昭和41年8月撮影)

当時の人口は6,800人余、世帯数は1,200戸余でにぎわいのある市街地を形成しておりました。



大成中学校で行われた「町制施行記念式典」
(参加者約300名)



元気いっぱいな久遠小学校1年2組の生徒
(昭和39年4月撮影)

「大成村」から「大成町」へ
町制施行を祝うため、昭和四十一年十月一日午前七時の打ち上げ花火を合図に町内全世帯に日の丸の国旗が掲揚され、青年相撲大会、漁船の海上パレード、花火大会など数々の記念行事が町を挙げて行われた。

年号	西暦	事項
昭和三十六	一九六一	・村で始めてブルドーザを購入する。 ・第十二回檜山管内消防総合訓練大会が開催される。 ・貝取潤巡查駐在所が宮野巡查駐在所となる。
三十七	一九六二	・大成高等学校水産科を普通科とする。 ・大成村国民健康保険診療所が開設する。 ・九月十六日発生の集中豪雨により富磯分校流失、住宅全壊三十二棟他大被害。
三十八	一九六三	・平和小中学校廃校となる。 ・久遠小学校富磯分校校舎落成式を挙げる。
三十九	一九六四	・大成村国保診療所が増床され国保病院となる。
四十	一九六五	・町制施行となり「大成町」が誕生する。
四十一	一九六六	・NHK・HBC・STV・マウンテン・トップ方式」中継所が穴潤山頂に完成する。
四十四	一九六九	・日本ボーイスカウト誕生する(大成団員長本間孝一、少年隊長清水義孝)。 ・宮野町内会設立される。 ・常磐温泉砂貝取潤川添村迄の三・六キロメートル掘削され自動車通行可能となる。
四十五	一九七〇	・大成町消防団消防車庫完成する。
四十六	一九七一	・久遠漁港が日本海さけ、ます流し網陸揚指定港となる。 ・平浜会館・長磯生活改善センター・上浦生活館落成する。
四十七	一九七二	・大成町母子健康センターが開設される。 ・大成町議会議事堂及び宮野生活改善センター完成する。 ・大成町観光協会設立総会開催される。会長に朝倉朝吉氏就任する。



昭和四十一年十月一日町制施行でにぎわう久遠市街地の様子。

貝取澗地区漁村再開発事業

昭和五十一年三月二十七日、貝取澗温泉が国民保養温泉地に指定（環境庁告示第二十七号）されたことを受け、将来の展望に立つて先人の残した生活文化遺産 地域資源を活かし、町民が夢と希望を託し得る生産と生活が調和した地域開発促進を願い始まったのが貝取澗地区漁村再開発事業である。豊富な温泉資源を活かし、俗化されない自然景観を活用しながら沿岸資源増大に資するため各種施設の建設事業が進められ文化的・近代的な施設整備を実現し、地域住民の就業機会の増大を図った。

整備された主な施設

あわび種育苗センター・ヒラメ養殖施設
 国民宿舎「あわび山荘」・国民温泉保養センター
 老人いこいの家・貝取澗公園
 テニスコート・野営場周辺の環境整備



岩風呂づくりの大浴場と新鮮な食材で観光客をもてなす国民宿舎「あわび山荘」



野営場におけるキャンプ風景

昭和四十八 一九七三

- ・久遠小学校校舎改築落成式を挙行する。
- ・第二十三回檜山管内消防総合訓練大会開催される。
- ・あわび蓄養施設長磯に完成する。

四十九 一九七四

- ・花歌生活館完成する。
- ・檜山広域消防組合消防署大成支署発足する（定員九名）。

五十 一九七五

- ・久遠局区内電話自動化となる（加入電話七百九十戸）。
- ・貝取澗にあわび種育苗供給センターが建設される。
- ・国民温泉保養センターがオープンされる。

五十一 一九七六

- ・貝取澗温泉が国民温泉保養地に指定される。
- ・老人いこいの家がオープンされる。
- ・第一回ふるさと港まつり・納涼花火大会が久遠漁港で開催される。

五十二 一九七七

- ・都船揚場上浦漁港分港として漁港に指定（農林省告示）される。
- ・久遠神楽保存会が発足される。
- ・婦人防火クラブ、消防長官から火災予防普及により表彰される。
- ・「大成町の歩み」発刊する。

五十三 一九七八

- ・都ことぶぎの家竣工する。
- ・富磯生活館・宮野保育園竣工する。
- ・長磯・久遠・太田・平田内・貝取澗・各中学校閉校式を挙行する。
- ・大成中学校生徒通学のため、スクールバスを購入する。
- ・大成中学校開校式・入学式（旧久遠中学校校体育館）を挙行する。
- ・十二月、大成中学校落成式を挙行する。



町制施行記念行事で久遠神楽の演舞披露（役場前にて）

町の学校の变迁

明治二十年十月、久遠・奥尻・太櫓・瀬棚郡四郡の郡役所が設置され、久遠は政治・経済等の拠点として重要な位置を占めていた。時の郡長代理の柴徹郎は将来を担う子弟教育のための学校設立に熱心で、時の村々の有力者である戸長・総代・組頭等を招集し熱心に説得を続け、有力者はそれに呼応し学校の設立に努力、明治十三年には久遠学校・上古丹学校を誕生させ、十五年には長磯・貝取澗・平田内学校が産声を上げる快挙をなした。学校教育に対する先人の先見の明と努力に対し敬意を表するものです。

学校の変遷（合併・統合・休校・廃校等）

明治十三	十二月十日	公立久遠学校 一艘村に開校
	十二月十日	公立上古丹学校 上古丹村に開校
十五	七月十日	公立平田内学校 平田内村に開校
	十月	公立長磯学校 長磯村に開校
	十月	公立太田学校 太田村に開校
	十二月十日	公立湯ノ尻学校（後淳風学校に改称）湯ノ尻村に開校
	十二月十日	公立貝取澗学校 貝取澗村に開校
二十二	四月一日	久遠小学校は淳風小学校・上古丹小学校と合併し宮古へ移転
三十四	六月四日	久遠尋常高等小学校 高等科生徒四十六名奥尻島へ五泊六日の修学旅行を実施
大正八	三月十四日	久遠尋常高等小学校第一回学芸会を開催
昭和二	五月九日	アメリカ国際児童親善会寄贈の青い目の人形久遠尋常高等小学校に届く
	五月十一日	青い目の人形歓迎会を開催
十六	四月一日	尋常小学校・尋常高等小学校を国民学校と改称
二十二	三月十日	教育基本法制定・学校教育法公布学制が六・三・三・四となる
	四月一日	新学制による小学校・中学校が発足
	五月三日	久遠中学校開校 久遠小学校に併置
		久遠中学校太田分校 太田小学校に併置
		平田内中学校開校 平田内小学校に併置校として
		貝取澗中学校開校 貝取澗小学校に併置校として
二十三	十月十五日	長磯中学校開校 長磯小学校に併置校として
		今金高等学校久遠分校が開校 設置認可
二十四	四月十日	今金高等学校久遠分校が開校
二十五	四月一日	今金高等学校久遠分校が北檜山高等学校久遠分校となる
二十六	二月三日	貝取澗村立並内小学校平和分校が開校
二十七	四月一日	北檜山高等学校久遠分校が東瀬棚高等学校久遠分校と改称

年号	西暦	事項
昭和五十四	一九七九	・大成町民センター落成式が挙行される。
五十五	一九八〇	・大成町民憲章制定される。 ・町立図書館オープンする（蔵書数二千八百冊）。
五十六	一九八一	・郡役所跡に碑建立、貝取澗に漁村再開発事業完成記念碑を建立する。 ・久遠小学校開校百周年記念式典が挙行される。 ・大成高等学校全日制課程認可となる。
五十七	一九八二	・株式会社大成紳装工場閉鎖となる（従業員三十二名）。
五十八	一九八三	・町民グラウンドオープンする。 ・尾花岬沖合、貨物船祥海丸三千五百トン遭難沈没する。三遺体収容、二人救助、翌日さらに六遺体、次の日一遺体収容される。 ・大成消防団が地域防災の尽力により北海道知事より表彰旗を授与する。 ・学校給食センター落成する。
五十九	一九八八	・町内小中学校の学校給食が開始される。 ・郷土館・大成町農漁村総合センターオープンする。 ・長磯小学校改築落成式並びに創立百周年記念式典が挙行される。 ・太田小学校開校百周年記念式典が挙行される。 ・貝取澗小学校開校百周年記念式典が挙行される。 ・旧役場庁舎解体される。 ・第三十三回檜山管内消防総合訓練大会開催される。 ・日本海中部地震津波発生する。漁船破損漁港破壊被害甚大。 ・大成町開基百十五年役場庁舎落成記念式典が挙行される。

水産種苗育成センターの全景

昭和五十一年に北海道内で初めて温泉熱を利用したアワビの種苗生産を開始。その後「つくり育てる漁業」を積極的に推進するため平成九年・十年の両年にわたり日本海特定海域栽培漁業定着強化事業の認定を受け新たにアワビの生産施設整備を図る。



あわび種苗育成センターにおける「アワビ」の中間飼育状況

平成7年10月完成の大成高等学校



昭和十七	十一月一日	東瀨欄高等学校久遠分校が北海道久遠高等学校として認可。
二八	四月一日	久遠小学校富磯分校が開校（昭二七・二一認可、四年生まで）
三三	四月一日	平田内小学校平和分校が独立認可され、平和小学校となる。
三五	四月十四日	大成高等学校校舎新築落成開校十周年記念式を挙げる。
三八	九月十六日	集中豪雨にて富磯分校が流失。
三九	七月三十日	平和小学校が廃校。
四〇	十一月十九日	富磯分校校舎落成式を挙げる。
四一	三月十日	太田小学校校舎新築。
四二	一月十五日	久遠小学校校舎改築落成式を挙げる。
四三	三月十四日	長磯中学校開校式を挙げる。
四四	三月十九日	久遠 太田、平田内、貝取淵中学校開校式を挙げる。
四五	四月五日	大成中学校開校式・入学式を挙げる。町内中学校一校となる。
四六	十二月六日	大成中学校校舎が改築。
四七	四月八日	大成高等学校全日制課程認可（十一月十日）入学式を挙げる。
四八	四月十日	町内小学校の給食が開始。
四九	十一月十日	長磯小学校改築落成並びに創立百周年記念式典を挙げる。
五〇	一月八日	太田小学校、貝取淵小学校開校百周年記念式典を挙げる。
五二	十月十日	大成高等学校郷土芸能クラブが久遠福築で優秀賞を受賞。
五三	三月十日	太田小学校百十二年の歴史に幕、休校となる。
五四	六月十日	貝取淵小学校百十二年の歴史に幕、休校となる。

昭和五十九	一九四八	<ul style="list-style-type: none"> 開基百十五年の記念事業として町内小学校陸上競技・カラオケ大会・野球大会・町民大運動会・ゲートボール大会・バスケットボール大会等が開催される。 特別養護老人ホーム「大成長生園」オープンする。 婦人防火クラブ檜山地区大会開催される。四百余名市街地を行進する。 第一回町民歩こう会開催される。二百余名が参加する。 東部町内会設立される。 奇岩親子熊岩道南五景に選ばれる「あなたが選ぶ北海道」絵ハガキ図案。 「クン・ルー夢の国」本格焼酎を大成産として売り出す。 ヒラメの海中飼育を開始する。本陣町内会設立される。
六十一	一九八五	<ul style="list-style-type: none"> NHKドラマ「円空」撮影のため俳優丹波哲郎・女優倍賞美智子等来町、撮影に入る。 定灯籠百三十一年ぶりに復元（安政四年の奉納）される。
六十二	一九八七	<ul style="list-style-type: none"> 交通事故死ゼロ二千日達成表彰される。 ふるさと創生資金一億円の事業意見書会長より町長へ提出される。
六十三	一九八八	<ul style="list-style-type: none"> 新設の町民スキー場がオープンし第一回町民スキー大会開催される。 貝取淵二洞窟発掘調査開始する（開拓記念館六カ年計画）。 第一回商業祭開催される。 商工会設立三十周年記念式典が挙行される。 檜山広域消防組合が檜山広域行政組合に変更され支署は大成消防署に改称される。
六十一	一九八六	
元	一九八九	
二	一九九〇	



大成町の発展に貢献された方々多数が出席（開基115年記念表彰式）

10月5日町民センターで開催された「大成町開基115年・庁舎落成記念式典」



大成町開基百十五年・役場庁舎落成記念式典
 昭和五十九年十月十五日、先人の苦勞のあとを偲んで、町民等しく過去の輝かしい歴史とその栄光に感謝の意を捧げるとともに、次代を担う人々が、これを反省の機会として、大成町の今後一層の開発、発展に役立てていく決意を新たにし役場庁舎の落成を機に「ともに築いた百十五年 未来にはばたくゆたかな大成町」をメインテーマにかかげ「大成町開基百十五年・役場庁舎落成記念式典」を挙行、多くの記念事業や行事を実施した。

体験型観光施設整備事業

この事業の始まりとして、北海道南西沖地震発生のに着手し、翌年の平成六年四月二十九日、道の駅「てつ平・ひらら」を平浜の地にオープン。道の駅の発想は「道路にも鉄道の駅のような憩いの場を」との提唱がきっかけとなり、平成五年から始まった第十一次道路整備計画施策のひとつとして「道の駅」が位置づけられたものです。

道の駅は、二十四時間利用可能な無料の駐車場と清潔なトイレを有し、道路及び地域情報等を提供できる施設となっています。

当駅は、日本海に面し沖合には奥尻島が眺望できる国道二二九号、追分ソーランライン沿いに位置し、敷地内にはイベント広場や野外ステージ・温水シャワー施設を備え、町民の交流の場としての役割も担っています。

また、平成九年七月には前浜に「平浜海水浴場」・「てつ平・ひらら交流館」が同時にオープンし、体験型レジャー施設の拠点として整備が図られています。



平浜海水浴場風景

道の駅イベント広場で毎年行われている「わたためがして大成」によるよさこい演舞



年	号	西	暦	事	項
平成	三	一九九一		・ 太田定灯籠展望所、観光トイレ施設整備となる。 ・ 久遠小学校「緑の少年」結団式開催される（団員二十六名）。	
	四	一九九二		・ 社会福祉法人「大成町社会福祉協議会」発足する。会長に石原廣紹氏就任する。 ・ 大成消防団に初の女性消防団員誕生、団員十一名の入団式を実施する。 ・ 第四十三回檜山管内消防訓練大会開催される。 ・ 岐阜県洞戸村へ青年層中心の研修を実施する。	
	五	一九九三		・ 七月十二日午後十時十七分、北海道南西沖地震発生し、大津波襲来により大被害発生する。犠牲者十名、被害総額五十億円に達する。 ・ 大成消防団災害活動の功績により内閣総理大臣・消防庁長官より表彰される。	
	六	一九九四		・ 太田小学校百十二年の歴史に幕、休校となる。 ・ 道の駅「てつ平・ひらら」完成オープンする。 ・ 岐阜県洞戸村洞戸中学校三年生修学旅行で来町、大成町に一泊し、大成中と交流する。 ・ 大成町商工会新会館落成式を挙げる。 ・ 防災行政無線設置工事を施行される。	
	七	一九九五		・ 大成町農業協同組合が若松農業協同組合に吸収併合となる。 ・ 大成高等学校校舎改築落成式を挙げる。 ・ 防災行政無線完成する。 ・ 湯とびあ白別（白別温泉）オープンする。 ・ 大成消防団日本消防協会より表彰旗を授与する。	
	八	一九九六		・ デイサービスセンター・在宅介護支援センターオープンする。	

特別養護老人ホーム建設事業

世帯構造や生活意識の変化による高齢人口が増加の一途をたどり、寝たきり老人や一人暮らし老人などに対処するため、昭和六十年に五十名を収容できる特別養護老人ホームを建設（鉄筋コンクリート造平家建一、七〇二・八〇平方メートル）。その後、平成八年にデイサービス・介護支援センターが併設され、施設運営は社会福祉法人「大成慈恵会」が行っており、毎年、保育園児や子供会、婦人会などが定期的に慰問に訪れ踊りなどを披露しています。



大成保育園児による施設慰問



防災行政無線整備

災害からの教訓として、情報伝達の迅速化が強く切望され、「町民が安心して生活できる防災まちづくり事業」の一環として、平成七年五月に防災行政無線を整備し、現在は多目的な活用が図られている。



当時、貝取澗地区の穴澗山頂上付近に建設された中継施設。平成十四年に維持管理面や難聴解消などのため対岸の奥尻島高台に移設される。

役場内に設置された放送室からの放送風景



平成	八	九	十	十一	十二	十三	十四
一九九六	一九九七	一九九八	一九九九	二〇〇〇	二〇〇一	二〇〇二	二〇〇二
<ul style="list-style-type: none"> ・全国ラジオ体操会が久遠小学校で開催される。参加者は七百余名。 	<ul style="list-style-type: none"> ・東京大成会創立十五周年記念大会が開催される。（六十五名参加） ・上浦町内会設立される。 ・てっ平・ひらら交流館がオープンする。 ・平浜海水浴場オープン安全祈願祭執行される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・南西沖地震復興鎮魂の塔除幕式・追悼式を開催する。 ・スポーツ少年団連絡協議会設立十周年記念式典が挙行される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「がっぱり海の幸フェスタinわつためがして大成」開催される。 ・十二時間ロングランチャリティソフトボール大会開催される。 ・大成高等学校創立五十周年記念式典祝賀会が挙行される。 ・平浜町内会設立される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大成町体育協会三十周年記念ソフトボール大会開催される。 ・大成消防団、消防庁長官より竿頭綬を授与する。 ・檜山管内合唱祭開催される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道々北檜山大成線道路改良工事、安全祈願祭を実施する。 ・町村合併検討協議会委員辞令交付式を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・西部町内会・みやこの丘自治会設立される。 ・六町親善ミニバレーボール大会開催される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・函館バス生活路線（北檜山～大成間）太田区間が延長運行となり太田始発式を実施する。 ・都第五地区町内会・みやこ町内会・都本通町内会・いさりび町内会設立される。

北海道南西沖地震

平成五年七月十二日午後十時十七分に発生した北海道南西沖地震は未曾有の大災害をもたらし、死者二百名、行方不明者二十九名、家屋全壊五百五十一戸に及ぶなどの被害が発生。大成町においても十名の犠牲者をだし、住宅の全・半壊が七十四戸に及びました。全国各地からは暖かい救護の手や義援金が寄せられ、町としても早く被災者救護や住宅対策を講じるとともに「災害に強い町づくり」に着手し、壊滅的な被害を受けた太田地区集落の再編整備事業や、平浜・上浦地区の防潮水門、防潮堤の建設、災害情報などの伝達手段となる「防災行政無線」を設置するなど、防災体制を確立しました。



津波被害を受けた直後の状況

町並み整備が図られた太田地区集落



帆越山トンネル開通式でテープカットする関係者



年号西暦	事項
平成十五 二〇〇三	<ul style="list-style-type: none"> ・北部四町合併問題協議会を設置する。会長に大成町長就任する。 ・公共下水道一部供用開始される(東部、都間)。 ・公共下水道通水式を実施する。 ・ひやま漁協大成支所事務所開所及び落成式が開催される。
十六 二〇〇四	<ul style="list-style-type: none"> ・久遠漁港水産物荷捌施設落成式を開催する。長磯町内会設立される。 ・第五十三回檜山管内消防総合訓練大会開催される。 ・大成駐在所新事務所開所式を開催する。 ・北檜山大成線帆越山トンネル開通式を挙行する。 ・台風十八号襲来する。高潮・暴風による被害甚大で犠牲者一名。 ・第十回檜山北部三町合併協議会開催される。 ・町内全地区で住民合併説明会を開催する。 ・十二月七日、檜山北部三町合併協定調印式を開催する。 ・十二月二十一日、廃置分合・議会の議員の定数に関する協議等合併関連議案を大成町議会において可決する。
十七 二〇〇五	<ul style="list-style-type: none"> ・一月十七日、久遠郡大成町、瀬棚郡瀬棚町及び同郡北檜山町の廃置分合について北海道知事に申請する。 ・二月七日、久遠郡大成町、瀬棚郡瀬棚町及び同郡北檜山町の廃置分合による合併特別区の設置について北海道知事に申請する。 ・三月三十一日、せたな町の属すべき郡の区域を久遠郡とする決定書が北海道より公布される。

久遠地域における排水管渠の布設工事



事業の推進に係わった方による「通水式」でのテープカット

特定環境保全公共下水道整備事業
 平成九年に特定環境保全公共下水道整備計画が策定され、上浦から湯の尻地区に至る五十九・二ヘクタールの範囲を処理区域とする事業認可を建設省より受けて管渠の布設工事などが進められ、平成十五年に「浄化センター」が完成したことから、同年三月三十一日に「大成町公共下水道通水式」を行い、一部区域の供用開始を祝った。

第10回檜山北部合併協議会開催状況



協定書に署名する当町の委員

署名・調印後に握手を交わす3町長



檜山北部三町合併協定調印式

檜山北部三町合併協議会の合併協定調印式が平成十六年十二月七日に北檜山町健康センターで開催され、合併協議に係わる経過報告の後に、三町の町長が合併協定書に署名・調印し、続いて特別立会人の平沼栄二檜山支庁長と二十二名の協議会委員が署名をしました。

「北海道最西端の地」の確認

- 情報提供者 国土地理院北海道測量部 本木氏
- (一) 北海道の北海道最西端の地 北檜山町船隠（尾花岬の北檜山寄り）
 - (二) 位置 北緯四二度一八分三一秒 東緯一三九度四六分一秒
 - (三) 大成町尾花岬 北緯 四二度〇八分（三一秒） 東緯一三九度四六分（一秒）
- 情報提供者 北海道開拓記念館 学芸員 右代氏
- (一) 北海道の北海道最西端の地 北檜山町船隠（尾花岬の北檜山寄り）
 - (二) 位置 北緯四二度一八分四五秒 東緯一三九度四六分二一秒
 - (三) 大成町尾花岬 北緯 四二度一八分〇四秒（四一秒） 東緯一三九度四六分一五秒（〇三秒）

平成十七	二〇〇五
<ul style="list-style-type: none"> ・ 四月二十八日、町の廃置分合（総務省告示第 五百二十二号）が官報告示される。 ・ 八月二十四日、大成町表彰式並びに大成町閉 町式が挙行される。 ・ 八月三十一日、大成町閉庁式が挙行される。 	

日本の明日をつくる基礎資料となる 二十一世紀最初の国勢調査がはじまります

平成十七年十月一日から、五年に一度の国勢調査が全国一斉に実施されます。国勢調査は、統計法に基づき、国の最も基本的な統計調査として大正九年以来五年ごとに行われており、今回は十八回目の調査となります。国勢調査の意義と重要性をご理解いただき、ご協力をお願いします。

国の施策を行うための 基礎データとしての役割

国勢調査は、人口や世帯数、就業状態など、国の現在の実態を把握し、行政施策の基礎資料を得るために行われるものです。平成十七年国勢調査では、社会経済や人口構造の転換期にある今の日本を明らかにする統計データが得られるものとして期待されています。

国勢調査の回答は国民の義務

平成十七年十月一日現在、ふだん日本に住む人すべてが国勢調査の対象者です。

九月下旬から国勢調査員が国内の全世帯を訪問して調査票を配布し、十月一日現在の状況をみなさんに記入していただきます。記入された調査票は十月上旬に再び国勢調査員が各世帯に訪問し、回収します。調査期間中、自宅を留守にする場合には、国勢調査担当に連絡し、調査票の配布・回収についてご相談ください。

調査への回答は、統計法で国民の義務として定められています。また、不申告または虚偽の申告を行った人に対する罰則規定もあります。

国勢調査の結果は、平成十七年十二月下旬に速報値として、市区町村別男

女別人口及び世帯数を公表し、平成十八年六月には、速報値（抽出速報集計）として、国勢調査のすべての調査事項を集計し、結果を公表します。

今回集計されたデータやこれまでみなさんにご協力いただいた国勢調査の結果は、国勢調査のウェブサイトでもご覧いただけます。

みなさんの個人情報を守る

調査票を配布、回収する国勢調査員は、市町村長の推薦に基づいて総務大臣が任命する非常勤の国家公務員です。今回は、個人情報保護を一層徹底させるために国勢調査員用に「個人情報保護マニュアル」を作成し、世帯のプライバシー意識に対する適切な対応方法、秘密保護、封入提出調査票の取扱い、調査票の厳重管理について、指導を徹底しています。

また、封入提出に使用できる「調査書類整理用封筒」を全世帯に配布しますので、調査票を封入して提出したい場合には、「調査書類整理用封筒」に入れ、「調査票封入シール」で封をして国勢調査員に提出することもできます。

私たちの身近な生活に生かされる 調査結果

国勢調査の結果は私たちの身近な生

活にかかわるさまざまな施策に利用されています。

「地方自治法」「地方交付税法」「都市計画法」などの各種法令では、国勢調査で得られた人口を用いることが定められています。例えば、衆議院議員（小選挙区選出議員）の選挙区の画定及び議員定数（比例代表区）や、地方交付金の算定等の法定人口は、最新の国勢調査の人口を基にしています。

また、少子・高齢化、雇用、年金・医療費、防災への対策など、国及び地方公共団体の各種行政施策の基礎資料として利用されています。国立社会保険・人口問題研究所から発表されている人口や世帯数の将来推計のいずれも国勢調査の結果を基に計算されています。国の最も基本的な構成要素である人口をさまざまな角度から分析した国勢調査の結果は、このように行政を適切に進める上で、なくてはならない資料なのです。

その他、国勢調査の結果は、国だけでなく、大学、一般の企業、各種団体などにおいても、幅広く利用されています。

国民一人一人の協力により、国勢調査の結果が日本の明日をつくるための基礎資料となります。ぜひ、調査にご協力ください。

平成 17 年 国 勢 調 査 の 調 査 項 目

今回は、下記17項目に関して調べます。

1. 世帯員一人一人に関する項目

氏名	男女の別	出生の年月
世帯主との続柄	配偶の関係	国籍
就業状態	就業時間	所属の事業所の名称及び事業の種類
仕事の種類	従業上の地位	従業地又は通学地

2. 世帯に関する事項

世帯の種類	世帯員の数	住居の種類
住宅の床面積	住宅の建て方	



関連ホームページ：国勢調査広報サイト（CENSUS PARK）<http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2005/kouhou/index.htm>



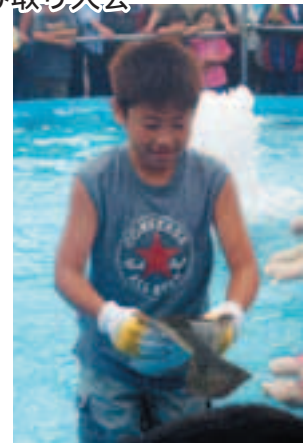
郷土芸能



ヒラメつかみ取り大会



新鮮な海の幸も大好評!



がっぱり海の幸フェスタ in わっためがして大成



YOSAKOIツアー大競演



わっためがして選手権



がっぱり あわび・もちまき



ツートン青木のものまねショー

お元気ですか

保健師です

第121回
です。



乳がん・子宮がん検診を

受けましょう！

乳がんについて

今、日本人女性の25人に1人が乳がんにかかると言われ、女性の壮年層（30～64歳）のがん死亡原因のトップになっています。

正しい知識と検診があなたを守ります。

なぜ検診を受けない人がいるのでしょうか。「忙しいから」「恥ずかしいから」と検診を先延ばしにしていますか。

でも、乳がんは早期発見が何より大事。早期なら95%以上が治癒



左右の乳房を片方ずつ透明の圧迫板ではさみ、薄く引き延ばした状態で撮影します。

し、乳房の外観を保つ治療も可能になります。

乳がん検診とは？

乳がん検診は、より精度が高いとされる視触診とマンモグラフィの併用検診となります。原則として対象は、40歳以上の女性に2年に1回の実施となりました。

なお、年齢によりマンモグラフィ（X線撮影）の枚数の違いから、50歳未満の方は料金が高くなりま

子宮がんについて

子宮がんは、がんのできる部位により、頸がんと体がんの2つの種類があります。子宮がんは40歳代以上の病気だと思われがちですが、子宮がんのなかでも子宮の入口付近にできる「子宮頸がん」は、20歳代に急増中です。

アスベスト（石綿）の健康相談を行っています

アスベストは、石綿と呼ばれる繊維状の鉱物で、日本ではその9割が建設資材として活用されてきました。

しかし、空中に飛散した繊維を吸い込むと肺がん・中皮腫などの病気を引き起こすことで知られています。

八雲保健所では、アスベストによる健康への影響について、電話等による相談を行っています。

以前、アスベストを吸い込んだ可能性がある場合、どこに検査に行ったらよいのか、どのような検査でわかるのかなど、アスベストに関しての情報提供や、健康相談を行っていますので、お気軽にご相談ください。

相談時間：月曜～金曜 9：00～17：00

【お問い合わせ先】

八雲保健所 ☎01376-3-2168

乳がん・子宮がん検診を実施します！

日にち：9月23日（金）
場所：大成町民センター
受付時間：8：30～9：30
12：30～13：00

申込締切：8月31日（水）まで
申込先：町民課保健衛生係
地区の保健推進員

〔検診料金〕

乳がん
50歳未満 4,100円
50歳以上 3,100円
子宮がん 1,000円
経膈エコー 500円
子宮体部がん500円

【お問い合わせ先】

役場町民課保健衛生係 ☎4-5511（内線252、257）

当日受診はできませんので、必ず事前にお申込ください。

10月1日から、ごみをステーションに出す場合、 組合の指定するごみ袋以外でのごみの排出は禁止になります！！

～ご協力をお願いいたします～

北部松山衛生センター組合では、平成13年11月と平成16年4月に燃えないごみの破砕施設で2度の大きな爆発事故があり甚大な被害が発生しました。

幸いなことに2回とも人的な被害はありませんでしたが、一歩間違えば大惨事になり得る爆発事故です。

原因は、組合の収集した不燃ごみのなかにプロパンボンベが混入されていたものです。

このことを教訓に組合では、公共の財産と作業員の安全を確保するため、ごみ処理中の爆発・火災事故の未然防止対策を検討した結果、組合が指定するごみ袋以外のごみの容器を使用することを禁止しますので、住民のみなさまのご理解とご協力をお願いいたします。



組合の指定ごみ袋以外の容器とは？

組合指定ごみ袋以外の容器とは、「市販ごみ袋」、「ダンボール箱」などで現在ごみ処理券を貼って出されている容器。

これらの容器は、内容物が確認できないものが多く「危険ごみ」が混入していても分からずに収集し、処理をする過程で爆発や火災事故につながる危険性があります。

ごみ処理券の使用について

現在、組合で発行しているごみ処理券は、従来どおり使用することができます。

家具類や自転車などの粗大ごみ(処理券2枚まで)、ダンボールや木の枝などを重ねてひもで束ねたものにごみ処理券を貼ってごみステーションに出してください。

また、ごみを直接組合へ搬入する場合は市販の袋、ダンボール箱などの容器の使用は可能です。

【お問い合わせ先】 北部松山衛生センター組合総務係 ☎01378 - 6 - 0070

皆さんから お尋ねの多い 質問にお答えします

年
金
コ
ー
ナ
ー



14 過去に加入していた厚生年金期間は、国民年金に反映されますか？

A

公的年金は合算されます。

過去の厚生年金加入期間と国民年金を納めた期間を合わせて「25年以上」あれば、老齢年金が受けられます。国民年金保険料を納めていないと過去の厚生年金が掛け捨てになるばかりか、万一事故や病気で障害が残っても障害年金が受けられない場合があります。将来厚生年金に加入するようになっても同様です。

年金の記録を早めに確認して、きちんと納めていくことが大切です。



将来のため、万が一の場合のため、国民年金保険料を納めましょう。

いぎくまびらぼり



勇壮に久遠神楽舞う（大成高等学校）

第二十九回全国高等学校総合文化祭あおもり「郷土芸能部門」

七月三十日・三十一日の両日、「青春の夢 青い森かけめぐり 文化の虹ときらめいて」をスローガンに、青森県（五所川原市）において開催された全国高等学校総合文化祭郷土芸能部門において、大成高等学校の全校生徒が「久遠神楽」を披露してまいりました。郷土芸能部門には、全国都道府県を代表する四十六校と中華人民共和国代表の各校がそれぞれ地域で取り組まれている郷土芸能等を披露しました。



大成高等学校は、昨年度岩内町で開催された全道高等学校郷土研究発表大会で優秀賞を受賞、今回の全国大会出場権を獲得し、発表に向けて熱意を持って継承活動に取り組んでまいりました。

閉校が決定し、来年度以降の発表活動ができないことや高文連でも最後の発表となったことで、演舞後、生徒達の目からはその達成感から涙がこぼれていたようです。本大会の久遠神楽の演舞には文化奨励賞が授与されました。



学校開放講座が始まりました！！

教育委員会では、住民の学習ニーズに広く対応するために地域の教育力の向上と学習環境の整備を図り学校機能を活用した学習機会の充実に努めております。

これを受け、各学校では、開かれた学校づくりを目指し、学校施設や教員の特技などを活用して地域の学習機会の拡充・充実に向けた開放講座を実施しております。

今年度実施される講座の詳細については、各家庭に広報誌を配付しておりますのでそちらをご覧ください。

今後行われる学校開放講座

我家に掛け軸（書道）
わかる初級パソコン
楽しい中級パソコン
楽しい手芸（ティディベアー）
パソコン初歩の初歩
写真の撮り方
健康な身体づくり（テニポン）
親子で楽しもう（ストレッチ）
楽しい英会話
年賀状作成（パソコン）



平田内小学校開放講座「小学生水泳教室」

新成人の前途を祝福 「平成十七年度大成町成人式」 厳粛に挙行

平成十七年度の大成町成人式が八月十四日、町民センター大ホールにおいて行われました。

今年度は、新成人十七名が出席し、多数の来賓と関係者の見守る中、厳粛に式典が挙行されました。

田中教育委員長は、

『成人式は、皆さんに大人としての責任や義務を自覚させ、社会の一員として認めるための儀式です。大人の仲間入りをした皆さんには多くの権利が認められる反面、社会的・同義的・法律的な義務があることを忘れてはなりません。』



今日の成人式を契機に、強い精神力と豊かな心、何事にも挑戦する勇氣と氣力を持つて限りなく伸びていくことを期待します。

また、ふるさと大成に限りない愛情と愛着心を持つて激動の社会を前進して下さい。』と式辞の中で激励しました。

また、出席された来賓を代表して花田町長は、

『人間は決してどう生きるべきか！という公式は示されるものではなく、だからといって自由奔放に生きていいものではない。自分のささやかな行為が何らかの解答を示すため、生きているのだということを二十歳の青春のけじめとして自分の胸に焼き付けてほしいと思います。』

現世は六十年周期ともいわれる大きな胎動つねりの中での競争社会です。挫折することなく一歩一歩自らの目標に向かって前進してください。』と、祝辞を述べました。

また、高畑議会議長は、
『進む人生の道はそれぞれ異なっても、常に自信と誇りを持ち、

自分なりの夢に向かって力強く歩んでいただきたい。

今日を機に、今後、より一層豊かな発想により自立できる責任ある社会人として自己研鑽に努められるよう期待します。』と、新成人に励ましの言葉を述べました。

最後に、新成人を代表して、栄田博行君と松川早紀さんが、「決意と抱負を新たにして、若い力を社会に発揮することを誓います。」と力強く成人宣誓をしました。

式典終了後には祝賀会が行われ思い出話に花を咲かせたり、ゲームやスピーチを通し楽しい時間を過ごしました。



《スポーツ・健康づくり広場》

五月から八月にかけて実施してきた健康づくり講座（運動教室）が終了し、九月から十一月にかけて、国民健康保険総合健康指導事業として健康づくり運動教室が実施されます。

主なプログラム

栄養指導

肥満予防

筋トレーニング

その他

* 詳細については後日お知らせいたします

お問合せ先

国民健康保険係及び保健衛生係



久遠小学校

地域に支えられて

前回の学校紹介では、昭和五十年当時のPTA関係者の環境整備に取り組んだ熱意と、今日まで有効活用されていることを紹介しました。

本校の教育活動は、このようにPTAはもちろんのことですが、地域の方々の物心両面のバックアップの基でゆるぎなく展開されてきています。

ここ数年は、近くのお寺に、畑を借用しています。

また、花の苗を頂くなど生活科や子供たちの栽培学習に役立っております。

夏の五年生による「イカつけ」体験学習には、毎年、釣り船を快く出してくださいております。

冬には、スキー連盟の方が、勤めの非番の日に疲れているにもかかわらず、子供たちのスキー指導を熱心に行ってくださいます。

このような地域の皆様のご支援をいただき、心から感謝い



「畑で草取りをする1・2年生」

たしております。

今後も、学校への苦言も含め地域の方々のご意見をたくさん賜り『思いやりの心を持ち、自ら活動する子』の育成に努めてまいります。

宿泊研修

五年生が、七月七日・八日の両日、一泊二日の日程で研修を実施しました。あいにく一名が体調をくずしていましたが十名の参加となりました。

例年の熊石野営場から、本年度はネイパル森に研修場所が変わりました。

研修内容は、一日目、サイクルラリー、木工クラブ、夕食作り

(カレーライスは結構おいしくできました)、一日目は、パークゴルフを行いました。

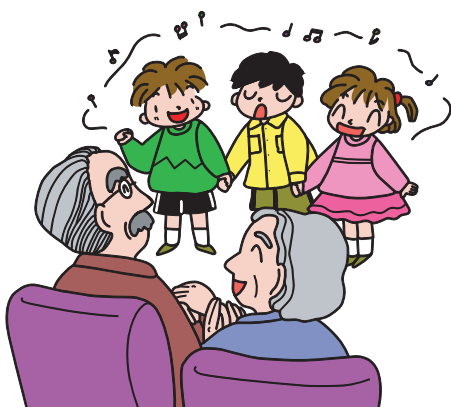
集団での約束が守られ、来年度の修学旅行につながる学習となりました。



「木の实や枝から飾り物を製作している5年生」

これからの行事等

- 9 / 1 (木) 祖父母参観日
- 10 / 16 (日) 学習発表会
- 10 / 27 (木) 長生園訪問
- 12 / 21 (水) 開校記念百人一首大会
- 12 / 22 (木) 終業式
- 2 / 5 (日) PTA研修会



おじさん・おばあさん、お待ちしております。



祖父母参観目で、アヤトリを教えてもらう昨年の3年生

都市での生活体験を通しふるさを見つめる

(都市生活体験宿泊研修事業 フロンティア・アドベンチャー)

大成町教育委員会主催の児童生徒を対象とした宿泊研修事業が、札幌市を会場に、八月八日から十日の二泊三日の日程で行われました。

今年度も、高校生ボランティア四名を中心に、都市での生活をおし、ふるさとを再度見つめる機会として実施いたしました。

五月に、高校生ボランティアが事前に研修地を視察し、日程や研修プログラムの基本をつくり上げ参加した小学生(四、六年生八名)が、自分たちの考えた活動を加え、子ども達が自発的に活動を進めるものとなりました。



一日目は、チョコレートファクトリーでのクッキー作り体験や、大倉山ジャンプ競技場の見学、ホテルでの簡単なテーブルマナーを終えたあとナイトウォークとして夜の街を散策しました。



この時期、大通公園では「夏祭り」が行われており、人の多さに驚きを隠せない様子でした。

二日目は、二班に分かれ、地下鉄を利用したり、地図を片手に徒歩で市内を回り、必修研修所の札幌市青少年科学館とSTVメディアパーク「スピカ」での昆虫王国を見学し、その後、それぞれ

が企画した研修プログラムまる一日費やし体験しました。

三日目は、留寿都村のルスツリゾートで、自由研修として遊具乗り放題を楽しみました。

参加者は、日常とは異なった都市での三日間の生活を通し、それぞれが「新しいふるさと観」を感じることができたようです。

子ども達の中からは、「大成と全然違う！」など率直な感想が出ておりました。

また、お互いが協力し合い、自分のことは自分の責任でやり遂げるなど、異年齢の交流が深まり、また、高校生のリーダーシップが全面的に発揮され、参加者全員が確実に成長した三日間の研修となりました。



II 教育委員会関係事業 II

(八月・九月の主な予定)

八月二十七日(土)

大成高等学校遠泳大会

八月二十八日(日)

図書館読み聞かせの会

九月十日(土)

ウイークエンド活動促進事業

秋の自然観察会

九月十四日(水)

いじめ防止さわやか集会

少年の主張大会

九月十七日(土)

ウイークエンド活動促進事業

町民歩こう会

九月二十三日(金)

大成高等学校

交通安全競歩マラソン

九月二十五日(日)

図書館読み聞かせの会

平成17年度

教育委員会所管施設
利用者数

7月

図書館
448名 累計2,083名

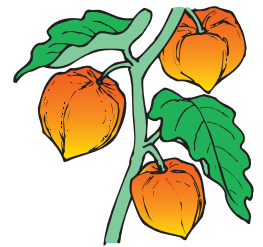
郷土資料館
27名 累計 65名

青少年会館
357名 累計1,451名

自衛官採用試験日程等のお知らせ

お知らせ
ひろば

募集種目	資格	受付期間	1次試験		1次合格発表	2次試験		最終合格発表
			試験日	試験会場		試験日	試験会場	
一般曹候補学生	18歳以上 24歳未満の者	8月1日 ～9月8日	9月17日	北檜山	10月3日	10月8日 ～9日	函館	11月9日
曹候補士	18歳以上 27歳未満の者							11月16日
航空学生	高卒(見込含) 21歳未満の者	8月1日 ～9月8日	9月23日	函館	10月7日	10月15日 ～20日	千歳	1月26日
看護学生	高卒(見込含) 24歳未満の者	9月9日 ～9月30日	10月16日	函館	11月1日	11月18日 ～19日	札幌	1月11日
防衛大学校 (一般)	高卒(見込含) 21歳未満の者		11月12日 13日	函館	12月7日	12月13日 ～16日	札幌	2月16日



募集種目	資格	受付期間	採用試験		合格発表
			試験日	試験会場	
2等陸・海・空士	男子	年間を通じて行ってまいります。	9月19日 20日 25日	函館	11月18日
	女子		8月1日 ～9月9日		



詳しくは、自衛隊函館地方連絡部今金募集事務所
または役場総務課までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

自衛隊今金募集事務所 ☎01378 - 2 - 0258
役場総務課総務係 ☎4 - 5511(内線211)



北檜山町

「真駒内神社例大祭」

開催日 / 宵宮祭 9月14日(水)

例大祭 9月15日(木)

鮮やかに飾りつけられた山車や神輿が町内を練り歩き、華やかに着飾った踊りが華麗な舞を披露します。
15日午後7時J A北檜山前交差点で、5台の山車による勇壮な太鼓合戦があります。必見!



今金町

「今金八幡宮例大祭」

開催日 / 宵宮祭 9月19日(月)

例大祭 9月20日(火)

道南最後のお祭り。3台の山車、神輿が町内を練り歩き、踊りの披露や笛・太鼓の音色で町内はお祭り一色となります。午後7時Aコープ交差点ではけんか太鼓、神輿の共演が行われます。



長万部町

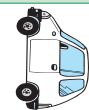
～長万部町ポイントガイド～
「平和祈念館」

丸木似里・俊夫妻「原爆の図・母子像」など、反戦と平和を願う心が生んだ美術工芸品を展示。前庭には、世界的彫刻家、本郷新の作品群が並んでいます。(入場は無料)

場所 / 高砂町(センター通り)
時間 / 9:00～17:00



コリドール交流ネットワーク構想推進協議会伝言版



瀬棚町

「事比羅神社祭典」

開催日 / 宵宮祭 9月9日(金)

例大祭 9月10日(土)

各町内会が趣向を凝らした山車行列のほか、かわいい子どもたちが着飾って踊る奉納踊りや名物「馬鹿囃子」など、瀬棚の秋を賑やかに彩ります。また、宵宮祭では、恒例の松前神楽の披露も予定されています。



熊石町

温泉紹介 秘湯「熊の湯」

平田内川のダイナミックな渓谷の岩棚に湧く天然の露天風呂(男女混浴)です。豪快な渓谷美の中での入浴は、野趣満点のひとときを満喫させてくれます。国民宿舎ひらたない荘より2.5km奥。男女別更衣室、駐車場有り。(9月末閉鎖予定)

利用料 / 無料



八雲町

「はぴあ産直市」

地元で採れた新鮮・安全・安心な野菜や水産物・水産加工品等を販売する産直市を毎月開催しています。

開催日 / 毎月第2・第4土曜日

時間 / 11:30～12:30

場所 / はぴあ八雲

【お問い合わせ先】

八雲商工会 ☎01376 - 3 - 2525

町発注工事「入札結果」について

平成17年7月23日から8月19日までに執行した、町発注工事の「入札結果」をお知らせします。

大成町特定環境保全公共下水道管渠工事 その1【上浦】

工事概要 管渠工（推進工・開削工）
 工事延長 L = 177.62m
 マンホール N = 3箇所
 公共柵 N = 6箇所
 工期 平成18年1月20日
 請負業者 (株)阿部組
 請負金額 40,183,500円



工事に対する町民のみなさんのご理解とご協力をお願いいたします。

警察署からのお知らせ

～北檜山警察署の名称が変わります～

北檜山警察署は、北檜山町・瀬棚町・大成町の合併にともない、警察署の名称が9月1日より「せたな警察署」に変わります。（新住所は、久遠郡せたな町北檜山区徳島4番地17となります。）

9月1日以降の届出書類などは、新しい警察署名でお願いします。

自動車運転免許証の住所変更

更新時に変更しますので、合併時の手続きは必要ありません。なお、更新前に希望される方は、住所を管轄する警察署または、交番などで手続きをしてください。

ただし、自己都合で住所が変更となる場合は、記載事項の変更をしなければなりません。

自動車保管場所証明書等関係

住所変更の手続きは必要ありません。変更登録、移転登録の申請時にあわせて手続きを行ってください。

猟銃、刀剣類等所持許可関係

本籍、住所の変更の手続きは必要ありません。なお、書き換えを希望される方は、住所地または事業場を管轄する警察署の窓口に出してください。

【お問い合わせ先】

北檜山警察署 ☎01378 - 4 - 6110

ご冥福を祈ります
 寺分 ヨネさん（72歳）上浦
 山川ユミ子さん（86歳）長磯
 菱川キクエさん（86歳）都

おくやみ

武藤 重信さん（久遠）
 池田喜代美さん（鹿児島）
 村井 貴大さん（本陣）
 谷 聡子さん（江差町）
 長内 尚さん（北檜山町）
 西澤 としさん（花歌）
 星 有造さん（都）
 中島弘美子さん（函館市）

いつまでもおしあわせに

ご結婚

山口 整吾くん（嘉樹）久遠

こんにちはよろしくね

お誕生

（平成17年7月末）

戸籍の窓

出生届 14日以内
 死亡届 7日以内

吉井 ヨシさん（95歳）花歌
 善意に心から
 感謝申し上げます
 特別養護老人ホーム「大成長生園」に入園されているおじいちゃん、おばあちゃんに心あたたまる贈りものが寄せられていますので、ご紹介いたします。（敬称略）
 寄附金
 ・山川 昌 顕（長磯）
 ・吉井 敏 男（花歌）

世帯と人口

人口	2,431人 (-1)
男	1,114人 (+1)
女	1,317人 (-2)
世帯数	1,166世帯 (-2)

平成17年7月末現在（ ）内は前月比